

全国労働組合生産性会議について

全国労働組合生産性会議（議長：落合清四・U Iゼンセン同盟会長、略称：全労生）は、①雇用の確保・増大、②労使の協力・協議、③成果の公正分配の三原則を柱とする生産性運動の推進母体として、1959年「労組企画実践委員会」として発足した。その後、10周年を迎えた1968年に「全国労働組合生産性会議（全労生）」と改称し、現在に至っている。全労生は、発足以来今日に至るまで、生産性運動に取り組む産業別労働組合の中核体として、産業労働と生産性に関わる諸問題について幅広く調査・研究とともに運動を実践してきた。

具体的には、①経済動向の把握やこれに対応すべき労働組合のあるべき姿や政策についての協議、②構造転換や新たな経済動向に対応する労働組合の方針を深化徹底させるための研究集会、討論集会、シンポジウム等の開催、③労働組合相互間の連携と協力関係の推進、④経済・労働情勢に関する継続的な調査・研究活動、⑤社会経済生産性本部と連携した事業活動などを積極的に推進している。

現在は、全体的な活動方針等を決定する中央委員会を中心として、企画・財政部会、調査部会、労働政策部会、組織・広報部会、中小企業対策部会といった専門部会と、時宜に合った問題を取り上げ研究する特別委員会が設置されている。また、各地方に置かれている地方労組生産性会議と連携し、全国的な活動を展開している。現在、30加盟組織、約500万人の組織人員で構成されており、役員および加盟組織は以下の通りである。なお、事務局を社会経済生産性本部が担当している。

【役員】

議長	落合 清四	(U Iゼンセン同盟・会長 社会経済生産性本部・理事)
副議長	大福真由美	(電機連合・副中央執行委員長)
副議長	豊泉 則幸	(JAM・副会長)
副議長	桜田 高明	(サービス・流通連合・会長)
副議長	土屋 哲世	(運輸労連・委員長)
副議長	萩原 克彦	(自動車総連・事務局長)
副議長	山口 義和	(J P労組・中央執行委員長)
副議長	野田三七生	(情報労連・書記長)
副議長	徳田 孝蔵	(U Iゼンセン同盟・副会長)
副議長	南雲 弘行	(電力総連・会長)
事務局長	西澤昇治郎	(基幹労連・顧問)

【加盟組織】

U Iゼンセン同盟	J E C連合	J R総連	航空連合
自動車総連	運輸労連	ゴム連合	セラミックス連合
電機連合	サービス・流通連合	紙パ連合	全銀連合
JAM	フード連合	全国一般 (自治労)	印刷労連
生保労連	交通労連	日建協	建設連合
情報労連	J P労組	都市交	私鉄総連
基幹労連	損保労連	全電線	
電力総連	J R連合	全国ガス	